

“超蓄光”塗料 取扱注意事項

- 蓄光塗料の用途、システム(下地処理や塗布回数など)、及び希釈方法については、別紙の仕様書をご参照ください。
- 蓄光塗料の塗布方法は、スプレー吹きが最も適していますが(ムラなく塗る事ができるため)、ハケなどで塗布する場合には次のような注意が必要です。
 - 蓄光塗料は、半透明に近い塗料で、下地を完全に隠す様な隠ぺい性がありません。隠ぺい性がない塗料は、一般のエナメル塗料(隠ぺい性のある塗料)と比較するとハケ目などのムラが目立ちやすくなります。また、暗闇で発光した際にもムラのまま発光します。
 - 蓄光塗料は、蓄光材料の沈降を防ぐ目的や、垂直面に意図的に少々厚く塗布した際のタレ防止などの目的の為に、チキソトロピー性を付与してあります(静置しておくるとプリン状に固まるが、攪拌などの力を加えるとやわらかい液体となる現象)。このため、多少塗料のレベリング性に影響が出る場合があります。
 - 従って塗る面積や気温及び使用するハケなどに応じてシンナーで粘度を調整し、予め目立たない場所で塗布テスト(レベリング確認)を行って下さい。
 - 下塗りに白色塗料を塗布した場合には、下塗り塗料の乾燥が不十分だと蓄光塗料で下塗り塗料を溶かしてしまい、蓄光塗料と混ざってしまうことがあるため、1日以上十分に乾燥硬化させてください。また、蓄光塗料を重ね塗りする場合も同様です。特に、時間をかけて何回も同じ場所をハケで刷くと下塗り塗料に影響が出やすいため、短時間で仕上げてください。
- 蓄光塗料は必ず2回以上重ね塗りをして下さい。1回塗りで終了されますと、塗装面がマット状態(ザラザラとして艶のない状態)になりやすく、また発光輝度も低くなります。
2~4回程度塗り重ねをしますと、発光輝度も高くなり、表面状態も改善してきます。
- 重ね塗りをする場合、以下の内容にご注意ください。
 - スプレーガンの場合：下塗りの塗料に影響が出ない程度に、2時間以上十分に乾燥させてください。
 - ハケ塗りの場合：上記の通り、下塗り塗料を必ず1日以上十分に乾燥硬化させた後に行ってください。(ハケ塗りの場合、下塗りの塗料を溶解し動かしてしまわない様に、出来るだけ短時間で仕上げてください。)※塗膜が薄い時は早く乾燥しますが、最終的に塗膜が厚くなると完全な乾燥までにかかなりの時間を要します。最終養生には十分に時間をとってください。(塗膜厚に応じて、48時間~1週間程度。)
- 蓄光塗料は、クリヤーと蓄光材料が分離することがあります。ご使用前に必ず缶の底からよく攪拌して下さい。その後粘性を確認し、必要に応じて粘度の調整をして下さい。
- 蓄光塗料を取り扱う際の気温について、気温が5℃以下および湿度が85%以上の条件下では塗膜形成上好ましくありませんので避けて下さい。
- 室内などで塗装作業を行う場合は、必ず換気を良くして作業を行って下さい。